

# 海から眺める！阪神間今昔

防災学習として、海の水から街を守る「尼ロック」施設や「防災展示室」を見学します。兵庫県巡視船「さちかぜ」に乗船、海の上から美しい阪神間の景色を眺めながら、新西宮ヨットハーバーに移動します。到着後、小西巧治氏による歴史深い阪神間の今昔について「講演会」を実施いたします。

## 内 容

防 災 学 習 ➡ 乗 船 移 動 ➡ 講演会「阪神間今昔」・食事

尼ロック施設

尼崎・西宮・芦屋沖

新西宮ヨットハーバー会議室

日 時 2017年

① 10月18日（水）

② 10月25日（水）

③ 11月8日（水）

各回 集合 9:00 阪神「尼崎センタープール前」駅  
解散 13:30 頃 西宮市・新西宮ヨットハーバー

定 員 各回 15名

応募多数の場合は抽選にて、  
参加者のみ、後日ハガキにて詳細をご連絡します。  
未成年の方はご遠慮下さい。

参加費 食事代（1080円）及び交通費は各自負担

## 講演会

古来より、茅渚（ちぬ）の海と呼ばれた大阪湾は、奈良、京都の都と西国や大陸を結ぶ交通の要衝。

茅渚の海の北東、現在の阪神間の海は“灘”と呼ばれるように、海上交通の難所として知られた。

この海を“灘”としたものが、ほかならぬ六甲嵐。明治維新後、工業地帯、郊外型住宅地として発展したこの地域のバブル経済崩壊や大震災を経た後の変貌を海から眺めたい。

【講 師】小西 巧治（西宮芦屋研究所副所長、阪神南地域ビジョン委員会専門委員）

主催：阪神南地域ビジョン委員会あにあんクリエイティブグループ 協力：兵庫県尼崎港管理事務所  
内容及び当日の連絡先 080-6208-2400【西坂】

申込方法 FAX送信のあと、電話にてFAXの到着をご確認ください。FAX 06-6482-0579

Fax 到着の確認先（電話）06-6481-4542 阪神南県民センター県民運動課

※参加希望日に○印 ①10月18日 ②10月25日 ③11月8日

氏名	年代	電話番号
〒住所		
fax またはメールアドレス		
※同行者は1名まで。氏名・年代を明記ください 〈 〉〈 年代〉		